

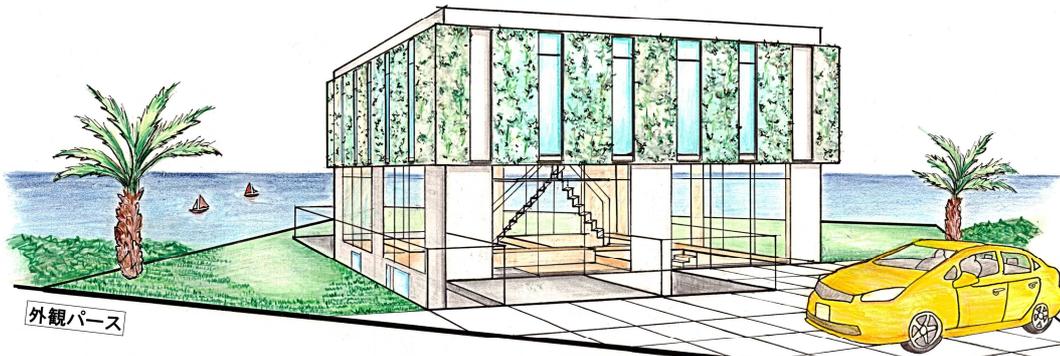
32

つくば工科高等学校 3年

生田 羽月 松崎 愛琉

家族の隠れ家

リゾート地の新しい住まい



外観パース

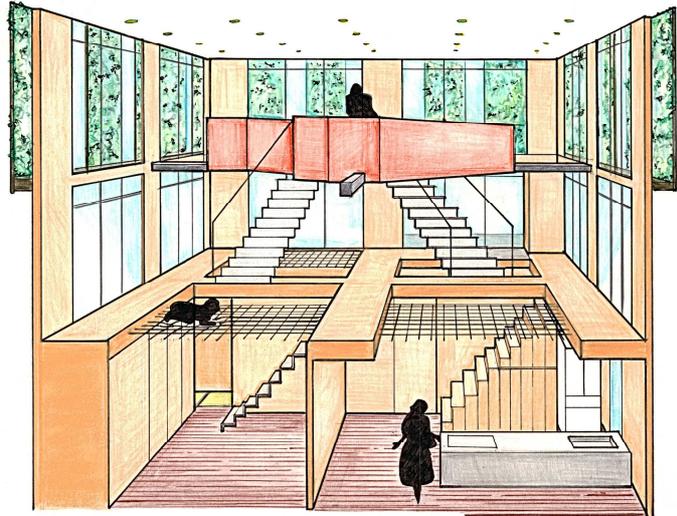
■ 敷地設定

コロナ禍の影響で働き方が大きく変わり、それと共にライフスタイルも変化してきている。リモートワークの普及で、通勤がなくなった分、会社に近い場所に家を構える必要がなくなった。そこで、仕事と余暇を充実できる場所（リゾート地）に住まいの拠点を移す人が増えているという。仕事を終えれば、即リフレッシュ。移動時間も交通費もかからない。これからの時代を見据えたワンルームの住宅を、海辺の高地に計画した。

家族の隠れ家

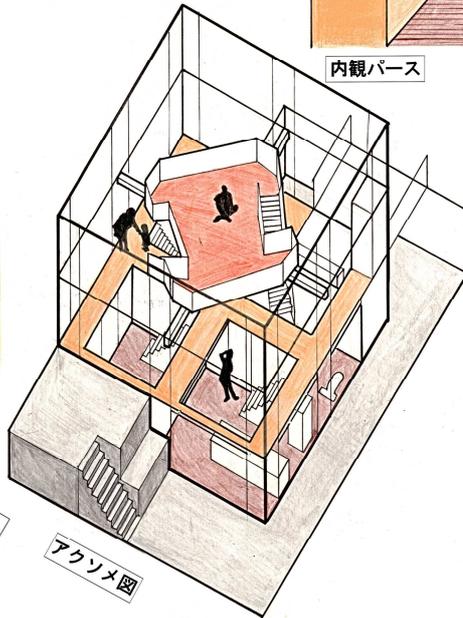
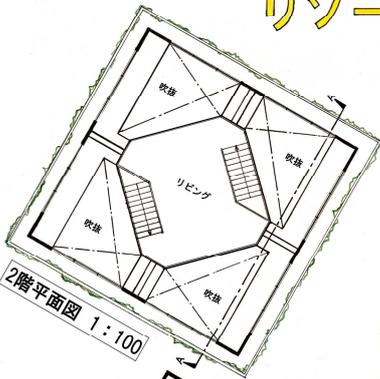
■ 建物のデザイン
その地の景色に溶け込むような、それでいて象徴的な建物。3フロアからなる建物は、1フロア分を地下に埋め込み、景観を壊さないように高さを抑えた。見渡す限り一面の青い海を眺めることができるよう、1階は窓を大きくとり、開いた空間を演出する。そのため壁（部屋）を作らない。奥の景色まで視線が抜ける不思議な建物に。2階は外部からの視線を閉じるよう壁面緑化を設けた。美しいグリーンカラーをまとった建物は、涼気な印象を与え、周囲の景色に溶け込みながらも、映えるものとなる。

■ 家族で使うワンルーム
家族であつても個々のプライバシーを確保し、適度な距離を保ちたい時はあるはず。そこでリビングを2階に、その他の部屋はすべて1階に、距離を離して設ける。地階の各部屋へは、それぞれの専用階段を利用する。部屋同士の行き来はできない。ワンルームでありながら横からの視線を遮り、独立性を確保する。1階は部屋がないため、空間を遮るものがない。どの位置から四方の景色を望むことができる。ただし、廊下的な用途だけの空間にならないよう、地階の天井にある位置にアスレチックネットを張る。リゾート地にある住宅らしく、遊び心のある空間を演出する。



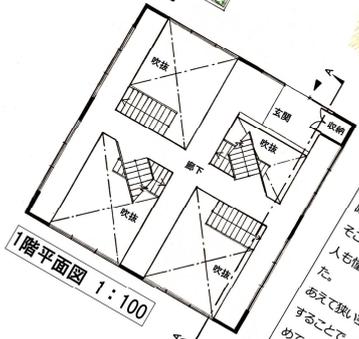
内観パース

リゾート地の新しい住まい

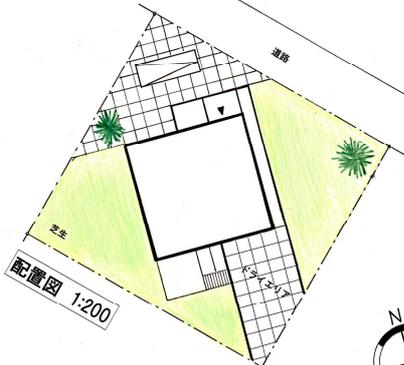
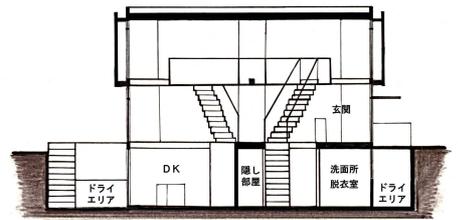


■ 吹き抜けにアスレチックネット

地下上部の吹き抜けスペースに、アスレチックネット（リンモック）を取り付ける。子どもはもちろん、大人も楽しめるスペースに！
ごろんと寝転びたり本を読んだり、使い方は自由。ネットの上を歩くだけで、ちょっとした運動不足の解消になる！？



■ 隠し部屋
ワンルームゆえに、家族の気配を常に感じる事が出来るが、一人になりたい気分の時も……。そこで、子どもだけでなく大人も隠れる隠し部屋を設けた。あえて狭い空間（1.5畳）にすることで、秘密基地感を高めてくれる。



■ みどりのカーテン

ワイヤーの補助材を建物4面に設け、プランターからつる植物を登付させる。登はん型とした。数種類の植物を植えることで、いつでも季節感や自然を感じることができる。また Co2 の吸収とともに、日射熱制限など省エネルギー効果を期待した。日差しが強い夏の季節、植物が建物への日射を遮断する役割を果たしてくれることで、冷房の消費エネルギーを抑えてくれる。

